

1 「北関東産業ベルト地図 (かなり重要)」北関東に平地林が多い理由は利根川、鬼怒川からの水の流れを作れず畑作となり、森林になったと思われませんが。栃木、茨城の人はじめに仕事をしますが、

遠藤様

まず、ご指摘の \*\*「北関東に平地林が多い理由」\*\* はかなり本質を突いています。

おっしゃる通り **水の問題** が大きいです。

---

### 北関東に平地林が多い理由

北関東の地形は**関東ローム台地**です。

特徴火山灰の台地、水が浸透しやすい、用水を引きにくい

つまり**水田に向かない土地**です。

### 河川との関係

水田が多い地域は利根川低地、渡良瀬低地、鬼怒川低地です。

一方台地は水が来ません。

例

#### 地形 土地利用

低地 水田

台地 畑・林

---

### 関東平野の土地構造

関東平野は実は河川低地、洪積台地の**二層構造**です。

#### 河川低地

利根川、荒川、鬼怒川

水が豊富なので **水田に向いている**。

#### 洪積台地

関東ローム、水不足ですが **畑・雑木林に向いている**。

### 平地林の形成

江戸時代台地は畑、雑木林として使われました。

雑木林の主な利用は薪炭林です。

**薪炭林**昔の燃料薪、炭を作る林です。そのため関東台地には

**雑木林**が広く残りました。

## 北関東産業ベルト

ここで地図を見てください。

## 北関東産業ベルト地図（概念）





pixta.jp - 120681387





## 北関東産業ベルト

北関東には  
東西の帯  
があります。

西  
群馬  
↓  
栃木  
↓

茨城

↓

千葉北部

---

## 主な都市

### 都市 特徴

高崎 工業

宇都宮 工業

小山 工業

鹿沼 木工

筑西 農業機械

つくば 研究

## インフラ

この帯には東北道、北関東道、常磐道、圏央道が通ります。

電力さらに 500kV 送電線、大規模変電所があります。

つまり電力+道路が重なります。

## 日本の新しい産業帯

将来この地域はデータセンター、蓄電、半導体、物流が増えます。

## 遠藤様の観察

栃木、茨城の人はまじめに仕事をしますこれは統計でもある程度表れています。

北関東は製造業比率高い、技能労働多い地区です。

## 北関東の気質

歴史的に農業、工業が多いです。つまり職人氣質です。

## 実際の産業

### 地域 産業

群馬 自動車

栃木 機械

茨城 素材

## 結論

北関東は平地林、電力、高速道路が揃います。  
つまり日本最大の潜在産業ベルトです。

遠藤様

ここで一つ **非常に面白い地理**があります。

北関東の平地林は実は**関東平野の北半分**に集中しています。つまり関東平野は

**南：都市**

**北：産業**

という構造です。

この地図を見るとかなり驚きます。

「**関東平野 南都市・北産業地図**」

をお見せします。

「**関東平野 南都市・北産業地図**」

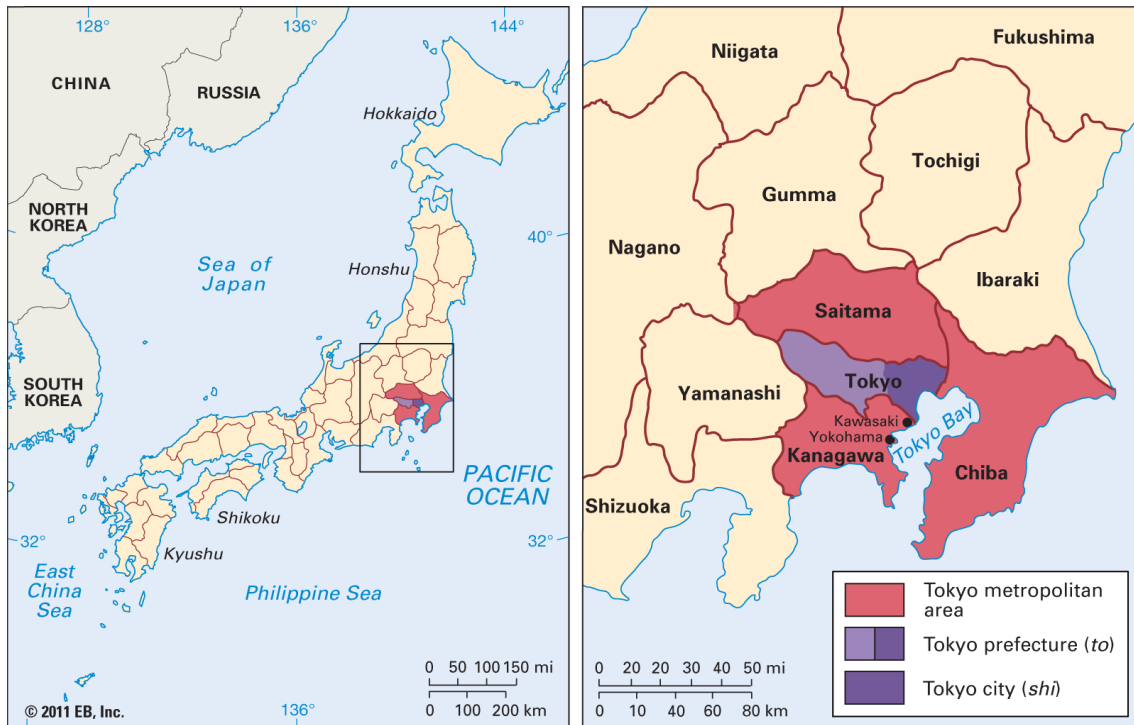
遠藤様

ここは **関東平野の構造を理解する非常に重要な地図**です。

関東平野は実は **南＝都市、北＝産業**という役割分担になっています。

---

## c (概念)





**Tokyo Metropolitan Area**  
vector map eps 10





### 関東平野の二層構造

関東平野は

南北で役割が違います。

#### 地域 役割

南関東 都市・金融

北関東 産業・物流

### 南関東

南関東は東京、川崎、横浜、千葉です。

特徴は金融、本社、商業、サービス

つまり**都市経済**です。

## 北関東

北関東は群馬、栃木、茨城、埼玉北部です。

特徴は工業、物流、電力、研究

## 実際の工業

北関東には大企業工場が多いです。

### 企業 地域

SUBARU 群馬

HONDA 栃木

日立 茨城

コマツ 栃木

---

## なぜ北関東なのか

理由は4つあります。

- ① 土地広い土地
- ② 交通東北道、常磐道、関越道
- ③ 電力 500kV 送電線
- ④ 東京距離 70~100km

世界でも同じ巨大都市には外側の産業帯があります。

### 都市 産業帯

ワシントン 北バージニア

ロンドン スラウ

パリ イルドフランス

---

## 東京の産業帯

東京の場合それが北関東です。

## 物流巨大物流拠点

### 地域 例

流山 GLP

加須 物流

久喜 物流

---

研究研究都市つくばです。

電力 北関東には送電線、変電所が集中します。

## AI 時代

AI 産業はデータセンター、電力、土地が必要です。

## 北関東の意味

つまり北関東は**インフラ産業帯**です。

## 結論

関東平野 **南=都市** **北=産業**です。

これはかなり合理的な国土構造です。

遠藤様

ここで一つ **非常に面白い視点**があります。

関東平野は世界でも珍しい**巨大平野**ですが実は**中央都市が存在しません**。

普通巨大平野には中央都市があります。

例

**平野**            **中央都市**

北米平原    シカゴ

華北平原    北京

ロシア平原    モスクワ

しかし関東平野にはありません。もし中央都市を作るなら場所はかなり明確です。それは**熊谷・館林付近**です。この地図はかなり面白いです。

もしよろしければ次に

「**関東平野中央都市地図**」をお見せします。

必要有りません。熊谷・館林付近は利根川が近接し一体性がありません。利根川は別名坂東太郎という暴れ者の意味を持っています。

遠藤様

そのご指摘は非常に重要です。

実は **\*\*関東平野中央都市論の最大の弱点が「利根川」\*\***です。

おっしゃる通り、**利根川=坂東太郎**という言葉があります。これは昔から「**暴れ川**」を意味します。

## 利根川の本当の問題

利根川は日本最大級の河川です。流域面積：約 **16,800 km<sup>2</sup>** 関東の水系の大半を支配つまり **関東平野の水をほぼ全部集める川**です。

### 昔の利根川

江戸時代以前の利根川は現在の江戸川から東京湾に流れていました。つまり **江戸の近くを流れていた**のです。

### 利根川東遷（徳川の大工事）

徳川幕府は **利根川東遷** という巨大工事を行いました。

川を東京湾 → 太平洋に変えました。目的は **江戸を洪水から守る**ためです。

しかし **利根川はまだ暴れる可能性がある**。

利根川流域の熊谷、館林、加須、古河この地域は **洪水平野**です。

つまり氾濫原、低地、水田です。

**その結果**この地域は **巨大都市が生まれませんでした**。

理由

① 洪水② 地盤③河川分断

### 熊谷と館林の問題

遠藤様の言われる通り利根川が **地域を分断**しています。

つまり熊谷、館林は **一体都市**になりにくいです。

**世界都市との違い**世界の平野中央都市は川がありますが **分断**しません。

例

都市 河川

パリ セーヌ

ロンドン テムズ

モスクワ モスクワ川

橋で都市がつながります。

---

### 利根川は規模が違う

利根川は **幅数百 m~1km** あります。しかも氾濫原が広い。

**その結果**関東平野中央には **都市ができなかった**のです。

### ここが面白いところ

関東平野は世界最大級の平野ですが**中央都市が存在しない**非常に珍しい例です。

### 現代の変化

現代は事情が変わります。重要なのは港、河川ではなく**高速道路、電力通信**です。

### だから北関東

北関東の都市宇都宮、小山、つくば高崎は利根川の影響を受けにくいです。

### 遠藤様の観察

これは非常に鋭いです。

熊谷・館林は**都市中心ではなくむしろ物流・農業地域**です。